

- ① … 浦和南、夏のリベンジならず 高校選手権／江南南はベスト8で敗退 全日本U-12選手権
- ② … 第12回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会～12月16日を振り返る～
- ③ … 宮城・福島・岩手 被災地招待試合
- ④ … 座談会 浦和南の戦いを振り返る～第97回全国高等学校サッカー選手権大会～
- ⑤ … 座談会 浦和南の戦いを振り返る (続き)
- ⑥ … 座談会 浦和南の戦いを振り返る (続き)
- ⑦ … 大会記録●県内大会 3種・4種・女子
- ⑧ … 大会記録●県内大会 女子・シニア
- ⑨ … 大会記録●県内大会 シニア・フットサル ●県外大会 1種・2種・3種・4種
- ⑩ … 大会記録●県外大会 女子・シニア・フットサル / 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## 浦和南、夏のリベンジならず 第97回全国高等学校サッカー選手権大会

全国高校総体ベスト4の昌平を破って、浦和南が17年振り12回目の「全国高等学校サッカー選手権大会」に臨みました。相手は全国高校総体の2回戦、0対3で敗れた東福岡でした。その口惜しさを払拭するがごとく、試合開始から積極的な攻撃を仕掛けてNACK5 スタジアム大宮に詰めかけた満員の観客の期待に応えましたが、この序盤にゴールが奪えませんでした。16分に相手の素晴らしいロングシュートで失点すると続けて失点し、結果は0対4。OBの田嶋幸三JFA会長が見守る中、初戦敗退は残念な結果でした。

12月31日 NACK5 スタジアム大宮  
1回戦 浦和南 0-4 東福岡  
※優勝は青森山田



浦和南高校応援席



1回戦 浦和南 vs 東福岡



浦和南高校

## 江南南はベスト8で敗退 JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会

県北の雄ともいえる「江南南サッカー少年団」が11年振りに県大会で優勝して「JFA第42回全日本U-12サッカー選手権大会」へ出場しました。グループリーグはしっかり1位で突破し、ラウンド16まで順調に進みましたが、準々決勝ではソレッソ熊本に先制を許し、シーソーゲームへ。35分に2対2と同点にしたものの、37分に突き放されてしまいました。結果は残念でしたが、中学年代での飛躍を期待しています。

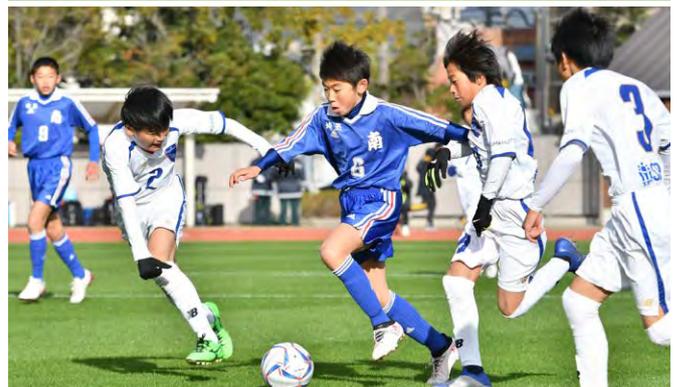
12月26日～29日 白波スタジアム他

●一次ラウンド  
グループL 江南南サッカー少年団 3-1 鳥取KFC  
                  アミティエSC草津 0-3 江南南サッカー少年団  
                  太陽SC 0-5 江南南サッカー少年団

※グループ1位

●決勝ラウンド  
ラウンド16 SSクリエイト 1-2 江南南サッカー少年団  
準々決勝 江南南サッカー少年団 2-3 ソレッソ熊本

※優勝は川崎フロンターレ



準々決勝 江南南サッカー少年団 vs ソレッソ熊本

# 第12回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会 ～12月16日を振り返る～

12月16日、埼玉スタジアムにおいて第12回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会の準決勝と決勝が開催されました。475チームの頂点に立ったのは、さいたまシティノース FC でした。

主催 (公財)埼玉県サッカー協会  
 主管 (公財)埼玉県サッカー協会第4種委員会  
 後援 埼玉県 / NHK さいたま放送局 / テレ玉 FM NACK5 / 埼玉新聞社

協賛

特別協力



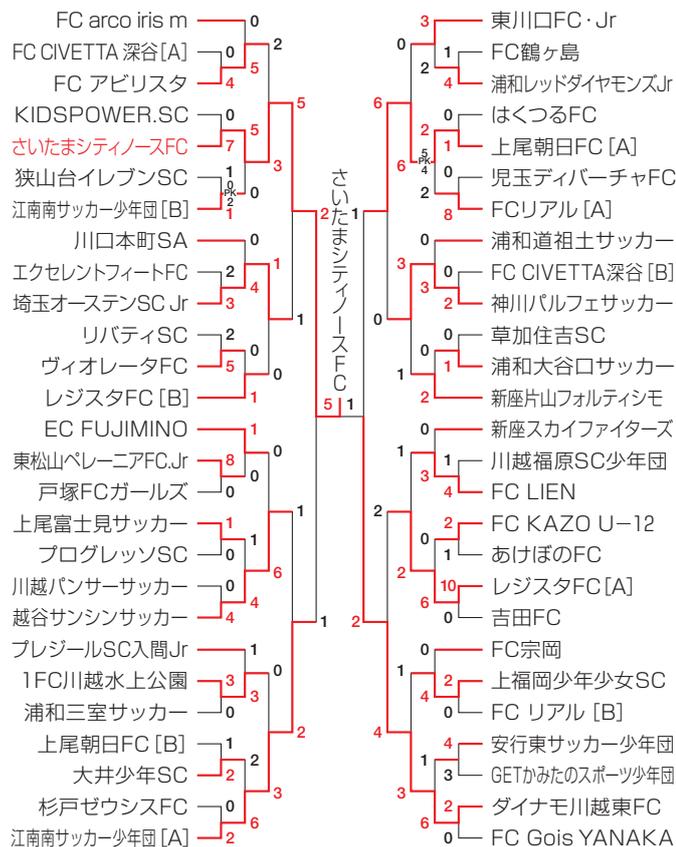
準決勝 さいたまシティノース FC vs 江南南サッカー少年団 [A]



決勝 さいたまシティノース FC vs ダイナモ川越東 FC



準決勝 ダイナモ川越東 FC vs 上尾朝日 FC スポーツ少年団 [A]



## 表彰式



鈴木会長とともに



優勝したさいたまシティノース FC



リーグ戦写真展



リーグ戦写真展



チャリティー豚汁販売



ミニサッカーゲーム



ミニサッカーゲーム



ミニサッカーゲーム



ミニサッカーゲーム



スタジアム見学ツアー

### 宮城・福島・岩手 被災地招待試合

今回も東日本大震災で被災した子どもたちを招待して、県内チームと埼スタのメインピッチで親善試合を行いました。震災を風化させることなく、そして東北3県の子どもたちと県内の子どもたちの交流を育んでまいります。



F.C. CIVETTA 深谷 A vs 郡山FC (福島県)



上尾富士見サッカースポーツ少年団 vs 古川杉の子 SSS (宮城県)



テーブルパーティー



FC KAZO U-12 vs 岩手県沿岸 (岩手県)



また埼スタに戻ってきてほしいと願っています

## 座談会

# 浦和南の戦いを振り返る

## ～第97回全国高等学校サッカー選手権大会～

出席者／野崎正治(浦和南高校)、田中龍太郎(SFA 2種委員長・大宮南高校)、池田一義(県高体連サッカー専門委員長・市立浦和高校)

この大会、17年ぶりに出場した浦和南には厳しい結果に終わってしまいました。ただ、試合前日に前売り券は売り切れてしまい、当日券も早々に完売。NACK5スタジアム大宮は、浦和南への期待が溢れていました。あの試合を三人の皆さんに振り返っていただきながら、現在の埼玉の課題についても語っていただきました。(司会、構成／広報委員・荒川裕治)

### 郷土愛が希薄に

**野崎** まずは今回の全国選手権への出場にあたり、SFAをはじめ、県高体連などあらゆる皆さんに物心両面でサポートをしていただきましたことを、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。また実際の試合においても、NACK5スタジアム大宮に大勢の、本当に入りきらないほどの観客の皆さんから声援をいただきました。県民の皆さんに感謝しています。かなり運営側は大変だったと思いますが、そんな中でスタンドを覗いていたら、小さいお子さんや年配の方々が多かったですね。幅広い年代の方たちに来ていただいたことはありがたいことでした。

**池田** それは「南高」だったからです。

**田中** その通りだと思います。「南高」のファンは多いんですよ。

**野崎** ありがとうございます。それだけに結果としては悔しい敗戦でした。勝負事ですから、振り返ると結果論になってしまいますが、その中でも選手たちはがんばってくれました。正直、「たまたま」と思うこともあります。やはり施設、スタッフ、そして選手が一体にならないと結果は出ないということです。よく県代表になったことについて、グラウンドが人工芝になったことを結び付けられます。確かに環境がよくなったことはうれしいことですが、でも施設がよくなっただけでは結果は出ません。選手ががんばってくれて、いいスタッフがいてくれたことです。ただ、今回の選手権で結果を出せなかったのは、私の力不足だと思っています。

こういう結果の中で言うことではないですが、取って言いたいことがあります。公立高校と私学との差、人材の差を痛感しています。具体的に言えば、県教委は公立高校における部活動のあり方をどう考えているのでしょうか。埼玉県では前期・後期選抜ではなく「一本化入試」を行っています。他県では、それぞれの高校の特徴を活かした入試を行っているところもあります。ということは、部活動に関しては私学に任せておけばいいということなのでしょうか。



野崎正治監督

——野崎さんのご意見にお二人はいかがでしょう。

**田中** 前期・後期と分けて入試を行っていたころの方がいろいろな生徒が入ってきてくれていました。それが現在の公立高校の入試では、3月に入ってからでなければ合否がわからないのですから、私学に進む生徒が増えてしまっているのでしょうか。それだけ公立高校に魅力が無いのかもしれませんが。

**池田** 受験生として、希望する公立高校にチャレンジしたい気持ちがあっても、「落ちたらどうしよう」と考えて私学受験を選択することもあるでしょう。「公立への入学が叶わなかったら、サッカー部へは入部しなかった」という声も何度か聞いたことがあります。

**田中** 高校によるのでしょうか、生徒の質は変わったような気がします。

**池田** もちろん一生懸命勉強して合格した生徒は、一生懸命部活をやってくれていますね。

**野崎** 思うに意識が違う、というか。他県の選手たちを見ていると以前のような「県代表になって全国で優勝する」という意識ではないんですね。目指すところが「選手権大会に出場したい」「〇〇高校の一員として優勝する」になっているような気がします。だから高校進学をきっかけに埼玉から他県へ出ていく選手たちが増えているのでしょうか。もちろん、他県に出ていく選手たちは覚悟を持って全国から集まってきた仲間たちと高いレベルで競争するので、そこで苦労していると思います。一方で「公立でがんばろう」という子供たちもまだまだいますが、他県にまで出ていった選手たちには太刀打ちできないなという思いを強く感じました。

なんというか、子供たちの中で“棲み分け”ができつつあるように思うのです。私も南高に入ってきた選手たちには私自身の思いをぶつけて焚き付けてはいますが、中学三年生にとって進学先が年内に決まると3月頭にならないとわからないのでは、そもそもの意識が違うんだなと思うのです。要は「県のためにがんばろう」とか郷土愛というものが希薄になっている気がします。昨夏の甲子園では秋田県の金足農業高校が準優勝し、全国から大きな声援がありました。公立で、地元出身選手でがんばっている姿に感動したからです。こういうところの意識の持たせ方も、これからの課題ではないでしょうか。



——全国的に皆さん、公立高校を応援しますね。これは判官贔屓ですから、仕方ないですね。

ちょっと違いますが、あるJクラブのアカデミーでの話です。「プロになりたいくて」入ってくる子供が大半だという話の中で、少し前ならばそのJクラブのトップチームで活躍したいというのがほとんどだったのが、今はジュニアユースからユースに上がるタイミングで、私立の高校から声をかけられると結構あっさり行ってしまうそうなんです。「プロになるためにはどちらがいいか」という話ではあるのですが、Jクラブでも帰属意識が希薄になっているという話もあります。

そういう地元意識や郷土愛を含めたとことで、どう中学年代と関わっていけばいいのかは、重要な話です。それはのちほどにさせていただきます、遅くなりましたが、今回の選手権大会を振り返っていただきます。

まずはお二人から伺いましょうか。田中さん、どうぞ覧になりましたか。

## いい雰囲気過ぎた

田中 野崎さんもいろいろ思うことがあるでしょうが、「たまたま」じゃないですよ。そもそも県大会の決勝で昌平に勝ったのも「結果」です。リーグ戦、高校総体県予選で対戦した相手を監督、選手と一緒に攻略したあの決勝戦は素晴らしかったです。

それで全国選手権ですが、序盤の攻撃を仕掛けている時間帯に1点取れば、不運な立ち上がりだったと思います。そんな中で相手の1点目は衝撃的なロングシュートでした。あれは仕方ないとしても、2点目はミスからでしたよね。南高の試合で、ああいうミスは見たことがありませんでした。残念でしたね。

また「あんな大観衆の中で」と野崎さんもおっしゃっていましたが、NACK5 スタジアムは、埼玉と違う迫力があり、さらにプレッシャーがかかってしまったのかなとも思います。もし、0対0で試合が拮抗していたら、南高の良さが出ていたと思います。

野崎 あの1点目は仕方ないと思いました。ただ、あの2点目はショックでしたね……。

池田 私も県大会の決勝は素晴らしかったと思います。野崎さんは対戦相手の特徴を消すことに長けていらっしゃるんですが、あの試合も昌平にゲームをさせなかったじゃないですか。具体的にはどういう狙いがあったかはお聞きしたいですね。

あと全国選手権ですが、高校総体でも一度対戦した東福岡に対して、どういう入りをするのか興味を持って見ていました。実際のいい形を作ったじゃないですか。そのプランニングはどうだったのでしょうか。

野崎 うーん、言えないことが多いですね(苦笑)。振り返ると、全国選手権に出てもいつも2回戦、3回戦で負けて、同じ風景ばかり見てきました。大山(照人氏・武南高校)先生にお願いして、ご教授をいただいたこともありましたね。

先に全国選手権の話になりますが、また東福岡と対戦することになり、選手たちとは当然リベンジしようと話になりました。特に高校総体でシュートゼロで終わった相手に対して、どうすれば勝てるのかということ選手たちと一緒に考えました。思い切りDFラインを引くか、5バックにしてみるか……いろいろ考えましたが、最後は「思い切りやろうよ」という結論に至りましたね。選手はよくやってくれたのですが、結果を出せなかったのは本当に情けないと思っていますし、申し訳ないです。

あの観衆の中、東福岡の選手たちも地に足がついていなかったんですけどね……。

田中 東福岡もあれだけ観客の皆さんが多い中ではやったことのないのではないですか？ その中で南高のシュートがバーを直撃したりして、相手も浮足立っていたと思います。

野崎 その中で相手のGKが素晴らしかったですよ。ウチも崩さ

れたわけじゃない。ただ、あの立ち上がりの時間帯に得点したとしても、結果はどうなっていたかはわかりません……。逆にベンチから見ていて、いい雰囲気すぎたような気がしました。だって、いつもと違うんですから(苦笑)。それで点を取れず0対0。正直「いやだな」と思っていたんですよ。

池田 選手たちは初戦にコンディションを合わせて動ける状態でしょうから、動けてしまうんですよ。それも大声援が後押ししてくれるから余計に。

田中 高校総体ではシュートゼロだったのが、いきなり3本立て続けに打っていましたからね。

野崎 県大会決勝でも全国選手権でも相手の1点目は相手のラッキー。仕方ないと思います。ただ、県の決勝では、その後の逆転は「選手権に行きたい」と気持ちが昌平よりも上回ったような気がします。

池田 そう、お互いにですが選手権に行きたいんですよ。それとあの舞台を経験させてあげたい。高校サッカーの大きな目標の1つですから。

あわせて、プロ選手の育成にも野崎さんに対して関心がありました。浦和東時代には多くのプロ選手を輩出しています。自分もプロになる選手に関わりたいという思いはありましたから、その様な選手が育つ土壌をチームに整えておこうと考えてやってきました。

代によっても意識の差はありますが、初めて高校総体に行った時の選手たちは全国大会へ、また、選手としての将来像を高く保っていました。

市高でもここ2年でプロになった2人は明確なビジョンを持ってサッカーに取り組んでいましたね。

野崎 その意識が今とは違うんですよ。

池田 JFAはトップトップの選手を育てようとしています。それでリーグ戦を末端まで広げています。間違っていないのですが、いろいろ大変な中でやっていくしかないのでしょうか。

田中 リーグ戦に関しては、やっと落ち着きましたよね。リーグ戦の成果も感じていますし、実際、伸びていると思います。

野崎 でも埼玉は何十年と全国で勝っていません。どの高校でもいい。勝ってほしいです。

## 悔しい思いを見せる

田中 また選手権の話に戻しますが、そもそも野崎さんが南高に異動されて、選手たちは鍛えられたと思います。特にインテンシティ(強度)においては県内では南高がトップだと思います。東福岡に対して、この強さをどう生かそうと思ったのですか。

野崎 組み合わせが決まってから、東福岡については改めていろいろスカウティングしましたが、プレミアリーグではJクラブユースを相手に飄々とプレーしているんですね。ホント、プロみたいな感じでした(苦笑)。こっちは一戦一戦一生懸命やり続けるしかない中、それをどう覆すか。先ほども言いましたが、行こうか？

引こうか？ でも、昌平との県大会決勝のように相手のいいところを消すことができませんでした。というか、消す前に失点してしまいました。そのうち、あれよあれよという間に終わったんですね。

田中 先日の新人大会で、正智深谷との試合を観ました。準優勝



田中 龍太郎氏



した正智相手に負けはしましたが相手の攻撃に耐えて跳ね返して、さらに先制したじゃないですか。新チームであれだけ戦えるのは鍛えているからですよ。裏で何をやらせているのか(笑)。

**野崎** いろいろやっていますよ(笑)。というか、公立高校の指導者にはもっとチャレンジしてほしいですね。工夫してほしいです。

**田中** 例えば、南高の得点は4割がセットプレーですよ。浦和東でもそうですが、野崎さんのチームと言ったら、ロングスローにヘディング。身体では負けない。真似をしなければいけないところですよ。

**池田** 選手を育てていることに関してはすごいと思いますね。

手前みそかもしれませんが、全国よりも県内を勝ち抜く方が厳しいと思っています。県代表になったチームは全国ベスト8に入る力は持っていると思うんですけどね。実際には勝ち進んでいないので、全国で結果を出せる県内の戦い方を模索しなければなりません。

**野崎** そういえば、試合の後、埼玉新聞の記者の方から「今まで会った指導者の中で一番悔しい顔をしていますね」と言われましたね。初めて言われたんですけど、思うに、もっと「悔しい思い」を指導者が見せないといけないんじゃないですか。「誉めて育てる」という言葉もありますが、それでは怒られたときにどうすべきなのか、また謝る方法も知らないままです。もともと叱る指導はしていませんが「これは絶対やるな」の繰り返しのような気がします。「次勝てばいい」では伝わらない。やはり「よく覚えておけ」と言わないといけないと思いますね。

—こだわりですね。

**野崎** 記録ではないところ。例えば相手のゴールに繋がってしまったヘディングの場面やボール奪取の場面で負けた局面。そういう記録に残らないところでがんばれと言っていますし、そういうところを私は見ているんだと言っています。

**田中** その通りです。市高を覗いてても守備の一つひとつのところをがんばるじゃないですか。しっかりスライディングするし、身体を張って止めるし。南高の話でいえば、昌平との決勝戦での1点目も2点目も、その前の「がんばり」があつてのこと。普段からの積み重ねですよ。で、市高もがんばるんですよ。

**池田** 粘り強いと言われています(笑)。

**田中** 言われてみて、確かに1つ前、2つ前のプレーにフォーカスすることが少なくなっているかもしれません。

## 「天然ものになれ」

**池田** 新人大会の昌平や正智深谷を見ても、いろいろと考えてプレーしていますよ。

あと思うのは、3年生の夏過ぎでの成長です。伸びますね。市高だと大学受験があるのですが、そういうこととサッカーをどうするかと葛藤した上で、覚悟してサッカーもやるんですよ。その集中力は素晴らしい。

—覚悟、ですか。

**池田** そう「覚悟」です。あと、今の選手たちって、指導者に見

てほしいんですよね。教えることって少ないですよ。

**野崎** 見ることは大事ですね。教えなくてもいい。見てあげることで感じてくれるんですよ。そう、よく例え話として出すのですが養殖の魚と天然の魚、どちらが美味いか？ どちらが生命力があるか？ って。

練習を2時間やって「はい、終わり」では養殖だろうと。そこから個人でどう取り組むかです。伸ばすのは、伸びるのは、個人で身につけたことです。勉強もそうじゃないですか。授業だけじゃなくて「個人」で予習、復習をして身につくものです。だから、自分自身で蓄えて「天然ものになれ」という話をしています。

—その事例としては、川島選手(永嗣氏)でしょうか。

**野崎** いや彼は、勉強は授業だけでしたね。授業の中ですべて覚えると言っていましたから(笑)。それ以外はすべてサッカーでした。—そうでしたね(笑)。強引かもしれませんが、そういう「意識」、川島選手の時間の使い方もそうでしょう、先ほど出た「覚悟」…これらは高校3年間だけで培われたものなのではないでしょうか？ 最後になりましたが、子供たち、選手たちをどう導くのか。「覚悟」を持った選手は急に現れることはないでしょう。高校までの過程で、気づいてくれるかどうか。そのためにも、3種との連携は不可欠だと思います。確かに公立高校に入るためには、受験があります。「それでも県内に残って行きたい」と思ってもらえるような関係を作っていく必要があるのではないのでしょうか。

U-15の県トレセンのメンバーを見て、レッズとアルディージャに進む選手以外のその多くが県外に流れています。それはそれとして受け止めて、可能性があり「覚悟」を持った中学年代の選手たちを多く育て、県内2種のチームに進んでもらえるような仕組み作りが急務です。そのためには、もっと県内の高校の魅力を、指導者の皆さんの考えを発信してほしいのです。各チームが、各指導者が何を狙っているのか？ 先ほど池田さんから「選手権に出た後で『全国に行こう』という意識を持った選手たちが入ってきてくれた」と。やっていることが、やろうとしていることが見えれば、覚悟を持って受験してくれるのではないのでしょうか。

**野崎** ここでの話を糧にして、また1年やっていきたいと思いません。言いたいことは言わせてもらいました。今年は、大宮南が来ますよ。やってくれると思います。

**田中** 勘弁してください(苦笑)。今回、野崎さんががんばって選手権に出場されてことは私にとって、大きな励みになりました。私としては指導者としてはまだ選手権に出場できていないので、やはり発想を変えて取り組まなければ現状は変わらないと思いましたね。どういう形で頂点を目指すのか。南高の「がんばり」をきっかけに感じる事ができました。ありがとうございました。

**池田** 各チームで特徴を出すことは大事なことだと思います。やはり「行きたい」と思う子供、選手を増やすことが大事ですね。今、南高でも昌平でも、それぞれ特徴を持ってサッカーをやっているから切磋琢磨する中、全国で戦うことができています。

あとは選手がどこまで意思を持ってサッカーに臨んでくれるのか。その意思、覚悟が無ければ私も挑戦できません。そういう選手が入ってきてくれるような働きかけは必要ですね。ありがとうございました。

—ありがとうございました。野崎さんだけでなく、皆さんに期待しています。今年もよろしくお願いします。



池田一義氏



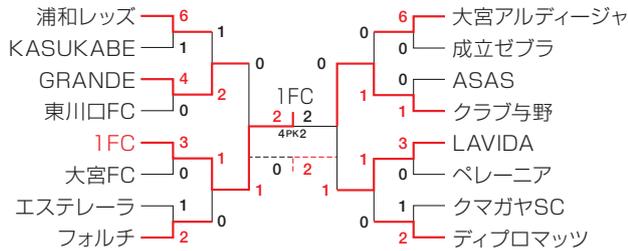
# 大会記録 ● 県内大会

## 3種・クラブ

### 第28回埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会

●決勝トーナメント

12月8日～2月2日 荒川総合運動公園他

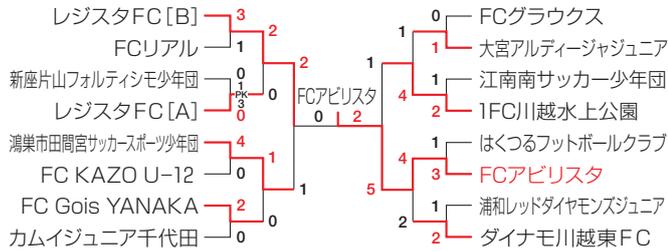


※優勝は1FC川越水上公園

## 4種

### 第13回埼玉県第4種新人戦中央大会

1月27日、2月10日 埼玉スタジアム第3グラウンド他



※優勝はFCアビリスタ



優勝 FCアビリスタ



準優勝 レジスタFC[B]



決勝 FCアビリスタ vs レジスタFC[B]



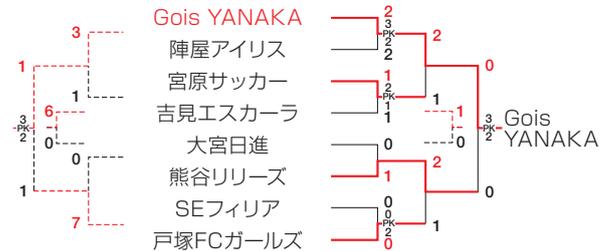
準決勝  
FCアビリスタ vs 1FC



準決勝 レジスタFC[B] vs 鴻巣田間宮

### 第4回埼玉県4種少女チーム新人戦大会

2月10日、17日 吉見ふれあい広場他



※優勝はGois YANAKA

## 女子

### 2018第11回(公財)埼玉県サッカー協会会長杯 兼 第40回埼玉県女子サッカー選手権大会

12月12日～16日 埼玉スタジアム第3グラウンド他

1回戦 大東文化大学 3-0 武蔵丘短期大学

準決勝 浦和レッズレディースユース 0-1 大東文化大学

東京国際大学 2-0 尚美学園大学

決勝 大東文化大学 0-3 東京国際大学

※優勝は東京国際大学



優勝 東京国際大学



決勝 東京国際大学 vs 大東文化大学

2018年度第26回埼玉県女子サッカーリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	大東文化大学	28	9	1	1	76
2	東京国際大学サテライト	28	9	1	1	54
3	浦和レッズレディースJY	26	8	2	1	30
4	ちふれASエルフェン埼玉マリ	23	7	2	2	21
5	DBFC楓昂	17	5	2	4	13
6	白岡SCL	16	4	4	3	10
7	大宮FCエンジェルス05	15	5	0	6	-17
8	GRAMADO FC TOKINAN	11	3	2	6	-24
9	入間向陽高校	10	3	1	7	-12
10	ちふれASエルフェン埼玉マリU-15	8	2	2	7	-22
11	FC Angeles	7	2	1	8	-31
12	越谷レディースファミリー	0	0	0	11	-98

平成30年度県民総合体育大会 兼 埼玉県高等学校女子サッカー新人大会

●決勝トーナメント

2月2日～17日 尚美学園大学グラウンド他

準々決勝

花咲徳栄 3-0 川口市立

入間向陽 1-0 浦和西

本庄第一 6-0 山村学園

久喜 0-2 南稜

準決勝

花咲徳栄 3-0 入間向陽

本庄第一 1-0 南稜

決勝

花咲徳栄 1-0 本庄第一

順位戦

川口市立 0-0 浦和西

(4PK5)

山村学園 2-4 久喜

川口市立 1-0 山村学園

浦和西 2-0 久喜

3位・4位決定戦 入間向陽 0-1 南稜

※優勝は花咲徳栄(3年連続4回目)



優勝 花咲徳栄高校



決勝 花咲徳栄 vs 本庄第一



3位・4位決定戦 入間向陽 vs 南稜

シニア

2018年度第11回埼玉県サッカー協会長杯 シニア40サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	クマガヤ	30	10	0	0	39
2	セレソン所沢シニア	27	9	0	1	33
3	西武台	22	7	1	2	14
4	SOL	21	6	3	1	19
5	FC浦和シニア	16	5	1	4	5
6	サンシン	12	3	3	4	-9
7	鳩山	12	4	0	6	-20
8	川越シニア	8	2	2	6	-7
9	八潮シニア	7	2	1	7	-12
10	川口	7	2	1	7	-24
11	東松山オールドパワーズ	5	1	2	7	-13
12	吉見	5	1	2	7	-25

2018年埼玉シニア50リーグ1部 後期上位リーグ

●全日程終了

順位	①リーグ	勝点	勝	分	負	得失点差
1	セレソン所沢	9	3	0	0	15
2	東松山オールドパワーズ	6	2	0	1	4
3	市高クラブ	3	1	0	2	-8
4	川口シニア	0	0	0	3	-5

順位	②リーグ	勝点	勝	分	負	得失点差
1	FC浦和シニア	9	3	0	0	5
2	NTTシニア	6	2	0	1	1
3	本庄アイベックス	3	1	0	2	-2
4	新明シニア	0	0	0	3	-4

●順位決定戦



●最終順位

1位	セレソン所沢
2位	FC浦和シニア
3位	東松山オールドパワーズ
4位	新明シニア
5位	NTTシニア
5位	本庄アイベックス
7位	市高クラブ
7位	川口シニア

2018年度埼玉県シニア60サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	パリス・US	33	10	3	1	23
2	FSC	29	8	5	1	18
3	ポラリス	28	8	4	2	16
4	KMO	21	6	3	5	0
5	春越	18	6	0	8	1
6	サウスフレンズ	11	3	2	9	-16
7	浦和GP	9	1	6	7	-14
8	OKG	7	2	1	11	-28

2018年度埼玉県シニア65サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	シリウス	25	7	4	1	17
2	ペンタゴン	23	6	5	1	7
3	エルマノス65	13	4	1	7	-8
4	FC DREAM	5	1	2	9	-16

## 2018年度埼玉県シニア70サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	FFC	23	6	5	0	11
2	パルス	15	3	6	2	3
3	Gファイター	11	2	5	4	-6
4	ゼルコバ	7	1	4	6	-8

## 2018年度埼玉県シニア75サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	アルゴス	20	6	2	3	+4
2	ペレウス	11	3	2	6	-4

## 2018年度第31回県民総合体育大会(0-40)

9月2日~12月16日 熊谷スポーツ文化公園補助陸上競技場他

チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
SOL TODA	11	4	3	0	11-0
パルスフットボールクラブ	0	0	0	3	0-3
FC浦和シニア	1	0	1	1	1-1
川口シニアフットボールクラブ	2	0	2	0	2-0
セレソン所沢シニア	4	1	2	0	4-0
八潮シニアFC	1	0	1	1	1-1
鴻巣UNITED	1	0	1	1	1-1
クマガヤサッカースポーツクラブ	6	2	2	0	6-0
VAMOS鳩山サッカークラブ	4	1	2	0	4-0
熊谷SFCフェニックス	1	0	1	1	1-1
フットボールクラブサンジニア	1	0	1	1	1-1
川越シニアSC	2	0	2	0	2-0
東松山オールドパワーズ	2	0	2	0	2-0
FC Coicoq シニア	0	0	0	3	0-3
KFC FUKAYA	0	0	0	3	0-3
西武台シニア	3	1	1	1	3-1

※優勝はSOL TODA

## 2018年度第17回埼玉県シニアサッカー選手権(0-50) 兼

### JFA第18回全日本0-50サッカー大会埼玉県予選

7月8日~12月16日 熊谷スポーツ文化公園補助陸上競技場他

チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
FC浦和シニア	4	1	1	0	4-0
上尾シニア	1	0	1	1	1-1
パルスフットボールクラブ	0	0	0	3	0-3
小川スパースター・ユナイテッド	4	1	1	0	4-0
川口シニアフットボールクラブ	1	0	1	1	1-1
秩父パンピーン・ユナイテッド	7	2	2	0	7-0
東松山オールドパワーズ	0	0	0	3	0-3
新明シニアサッカークラブ	3	1	1	0	3-0
NTTシニア	4	1	1	0	4-0
戸田シニアサッカークラブ	1	0	1	1	1-1
市高クラブ	5	1	2	0	5-0
東春72シニア	0	0	0	3	0-3
セレソン所沢シニア	8	2	2	0	8-0
深谷SFCフェニックス	3	1	1	0	3-0
東松山ペレニアフットボールクラブ	2	0	2	0	2-0
川越シニア	2	0	2	0	2-0

※優勝は浦和FCシニア

## フットサル

### Super Sports XEBIO 第18回埼玉県フットサルリーグ1部2018

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	アバンソールさいたま	31	10	1	2	31
1	AOH	31	10	1	2	21
3	スプリズ	26	8	2	3	17
3	F&F iwatsuki	26	8	2	3	12
5	コレクション	17	5	2	6	-5
5	G・F・C	17	5	2	6	-8
7	デールさいたま	16	5	1	7	-2
8	GRANDE	14	4	2	7	2
9	FC九龍	5	1	2	10	-27
10	MESSE大宮FC	4	1	1	11	-41

### Super Sports XEBIO 第15回埼玉県女子フットサルリーグ2018

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	Ambition	12	4	0	0	22
2	武南高校女子フットサル部	3	1	0	3	-8
2	アバンソール/フェム	3	1	0	3	-14

## 大会記録●県外大会

### 1種・社会人

#### 日本スポーツマスターズ2019 サッカー競技 関東予選会

2月9日、10日 ゼットエーオリブスタジアム

1回戦 埼玉県OVER35選抜 2-1 群馬選抜0-35

代表決定戦 OVER35千葉選抜 1-1 埼玉県OVER35選抜 (4PK1)

※OVER35千葉選抜、神奈川県選抜、エリースFC DX(東京)が本大会へ出場

### 2種

#### 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグ2018 EAST

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
7	浦和レッドダイヤモンドユース	20	4	8	6

#### 高円宮杯JFA U-18サッカープリンスリーグ2018関東

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
3	大宮アルディージャユース	28	8	4	6

※大宮アルディージャユースはプレミアリーグ参入戦へのプレーオフへ

#### 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグ2018プレーオフ

12月14日、16日 広島広域公園第一球技場他

Bブロック

1回戦 サガン鳥栖U-18 0-3 大宮アルディージャユース

2回戦 東海大学付属大阪仰星高校 1-3 大宮アルディージャユース

※大宮アルディージャユースはプレミアリーグへ昇格が決定

#### 高円宮杯JFA U-18サッカープリンスリーグ2018関東 参入戦

12月22日、24日 群馬県立敷島公園サッカー・ラグビー場他

1回戦 横浜FCユース 2-1 昌平高校

※横浜FCユースと帝京高校のプリンスリーグ昇格が決定



昌平高校 vs 横浜 FC

### 3種

#### 高円宮杯 JFA 第30回全日本U-15サッカー選手権大会

12月22日~28日 味の素フィールド西が丘他

1回戦 大分トリニータU-15 0-4 浦和レッズジュニアユース

2回戦 JFAアカデミー福島U-15 0-1 浦和レッズジュニアユース

準々決勝 ガンバ大阪門真ジュニアユース 1-1 浦和レッズジュニアユース (1PK4)

準決勝 ツエーゲン金沢U-15 1-1 浦和レッズジュニアユース (5PK4)

※優勝はFC東京U-15深川

### 4種

#### 第25回少女サッカー都県チーム関東・東北交流大会2018

1月12日、13日 吉見町ふれあい広場陸上競技場

●グループA 福島県選抜 1-0 埼玉パロミーナ

武田消毒ジェイドFC 0-6 埼玉パロミーナ

群馬県トレセンU12 1-4 埼玉パロミーナ

※埼玉パロミーナは3位

●下位トーナメント 埼玉パロミーナ 0-0 K.F.Dreams (3PK2)

5-6位決定戦 埼玉パロミーナ 1-1 茨城県トレセン (2PK1)

※埼玉パロミーナは5位。優勝はCHIBA United

## 女子

### 皇后杯JFA 第40回全日本女子サッカー選手権大会

11月3日～1月1日 パナソニック スタジアム 吹田他  
 準々決勝 AS長野パルセイロ・レディース 0-1 浦和レッズレディース  
 準決勝 日テレ・ベレーザ 1-0 浦和レッズレディース  
 ※優勝は日テレ・ベレーザ

### 第27回全日本大学女子サッカー選手権大会

12月23日～1月20日 味の素フィールド西が丘他  
 1回戦 中九州短期大学 0-16 大東文化大学  
 2回戦 大東文化大学 1-5 早稲田大学  
 ※優勝は日本体育大学

### 第27回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

1月3日～13日 神戸ユニバー記念競技場他  
 1回戦 花咲徳栄高校 2-1 鳴門渦潮高校  
 2回戦 花咲徳栄高校 3-0 日本航空高校  
 準々決勝 星槎国際高校湘南 2-1 花咲徳栄高校  
 ※優勝は星槎国際高校湘南

### JFA 第22回全日本U-18女子サッカー選手権大会

JOC ジュニアオリンピックカップ  
 1月3日～7日 J-GREEN堺  
 1回戦 ちふれASエルフェン埼玉マリ 2-1 熊本ユナイテッドSCフローラ  
 2回戦 ちふれASエルフェン埼玉マリ 0-3 INAC神戸レオンチーナ  
 ※優勝は日テレ・メニーナ

### 第25回関東女子サッカーリーグ入替トーナメント大会・2部入替戦

1月12日～26日 東京国際大学グラウンド他  
 大東文化大学 1-3 栃木SC  
 ※流通経済大学が昇格し、順天堂大学が残留した

### プレナスなでしこリーグ 1部

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
4	浦和レッズレディース	29	9	2	7

### プレナスなでしこリーグ 2部

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
3	ちふれASエルフェン埼玉	30	8	6	4

### 第24回関東女子サッカーリーグ 1部

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
6	浦和レッズレディースユース	17	5	2	7

### 第24回関東女子サッカーリーグ 2部

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
2	尚美学園大学	24	7	3	4
3	東京国際大学	21	6	3	5
5	武蔵丘短期大学	18	5	3	6

### 第32回関東大学女子サッカーリーグ戦

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
6	大東文化大学	11	3	2	4
8	東京国際大学	6	2	0	7
9	武蔵丘短期大学	6	2	0	7

●入れ替え戦 武蔵丘短期大学 2-0 順天堂大学(2部2位)

### 第2回関東女子ユース(U-15)サッカーリーグ大会

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
1	浦和レッズレディースジュニアユース	25	8	1	0

## シニア

### 第12回関東シニアサッカー選手権大会(O-50)

12月8日、9日 神奈川県立保土ヶ谷公園サッカー場他  
 ●B組 FC浦和シニア 2-2 山梨マスターズ・レジェンド  
 ドリーム水戸シニア 0-2 FC浦和シニア  
 FC浦和シニア 1-0 藤沢マスターズ50  
 ※FC浦和シニアはB組1位に  
 決勝 習志野台シニアクラブ 0-0 FC浦和シニア (2PK4)  
 ※優勝はFC浦和シニア

## フットサル

### Super Sports XEBIO 第20回関東フットサルリーグ2部 by PENALTY

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
6	烏天狗フットサルクラブ	17	5	2	4
10	Iwatsuki Futsal Club/tzk	10	3	1	7

### JFA 第24回全日本フットサル選手権大会 関東大会

1月12日～19日 笠松運動公園体育館他  
 1回戦 三栄不動産FC宇都宮 4-3 アバンソールさいたま  
 ※優勝はZOTT WASEDA FUTSAL CLUB

### 第21回関東フットサルリーグ参入戦/入替戦

2月2日 茨城県総合公園体育館  
 1回戦 フェニックス横浜 5-2 アバンソールさいたま

### 日本女子フットサルリーグ2018

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
3	さいたまSAICOLO	15	5	0	2

### Super Sports XEBIO 第9回関東女子フットサルリーグ2018 by PENALTY

順位	チーム名	勝点	勝	分	敗
3	さいたまSAICOLO	24	8	0	4

### 第10回関東女子フットサルリーグ参入戦/入替戦

2月2日 茨城県総合公園体育館  
 シュートアニージャ 5-0 Ambition

### JFA 第9回全日本U-15女子フットサル選手権大会 関東大会

11月24日～12月1日 昭和町立昭和記念体育館  
 1回戦 SEフィリアFC 4-1 東小沢バンピーナ  
 準決勝 SEフィリアFC 0-8 十文字中学校  
 ※優勝は十文字中学校

### 日本トリム Presents 第11回全国女子選抜フットサル大会 関東大会

1月26日、27日 東金アリーナ  
 1回戦 埼玉県選抜 17-3 山梨県選抜  
 準決勝 千葉県選抜 4-4 埼玉県選抜 (2PK3)  
 決勝 埼玉県選抜 3-2 東京都選抜  
 ※優勝した埼玉県選抜と準優勝の東京都選抜は3月の本大会に出場する

## 編集後記

2019年初のSFA NEWS、発行が遅れてしまいましたこと、まずはお詫び申し上げます。記事と記録が多いため、通常号より増ページとさせていただきます。また3月2日には待望の「SFAフットボールセンター」が開所式を迎える運びとなりました。最新の人工芝ピッチ2面を備えた広大なサッカー拠点。ぜひ皆様のご利用をお待ちしております。次号はこの「SFAフットボールセンター」を紹介いたします!

春の足音が日増しに大きくなってきました。新年度に向けた良い準備を進めてください。(藤田)